



落ち着いた生活！

4月から始まった学校生活も、約2ヶ月が過ぎようとしています。教室や校庭に目をやると児童のみなさんが一生懸命に活動している様子をうかがうことができます。児童の皆さんの声が響き渡る登校の様子を見てみると、登校班の班長が下級生にやさしく声をかけ安全に登校している姿が多くみられ、最上級生の6年生をはじめ上級生の児童の皆さんが学校で活躍しています。どの学年の児童も、目標をもち、それぞれの児童が持っている力を十分に発揮して、活躍できるよう支援してまいります。

さて、梅雨の季節に入ります。気温が上がり、湿度も高くなり今後熱中症も心配される時期でもあります。新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、熱中症予防にも心がけてまいります。

学校では、挨拶をはじめ廊下歩行や名札着用など基本的な生活習慣が身に付けられるよう繰り返し児童に働きかけを行っております。児童が落ち着いた生活を送り、教育活動が充実したものになるよう取り組んでまいります。

学校公開・個人面談ではお世話になりました

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、学校公開の実施にあたりご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。保護者の皆様にはお忙しい中、来校くださり重ねて感謝申し上げます。お子様の学校での様子を参観いただくとともに、個人面談では各学級担任と学校や家庭での様子を共有できましたことは今後の指導に役立ててまいりたいと考えております。

歯とお口の健康を！

6月4日は、虫歯予防デーです。毎年、健康診断で歯の健康について歯科健診をしておりますが、言うまでもなく、歯とお口の健康はとても大切です。なぜならば、人間が生活するためには、エネルギーを得なければなりません。つまり食事をしないと生きてはいけません。食物をしっかりと噛んで砕いて食事をします。私たちは、その食物のエネルギーを得て生きていくのです。小学校1年生から6年生の間に乳歯から永久歯に歯が生え替わります。一生のうちで歯が生え替わるのは、小学校6年間のこの時期だけです。歯や歯を支える歯肉を大切にケアしないとイケません。では、歯が悪いとどのようなことが起きてしまうのでしょうか。まず、食事に雑菌が混じり内臓を冒します。歯肉自体が炎症を起こして歯が抜けてしまいます。食事がしっかりかめないとやはり内臓を冒します。将来にわたって歯並びや歯の配列がずれて、頭痛やあごの関節が悪くなりおいしく食事ができなくなることもあります。

虫歯は病気とっていない人が多いのではないのでしょうか。虫歯は、立派な病気です。放っておく歯の神経や歯を支えている歯肉を破壊してしまいます。将来にわたって健康で元気な生活をするように歯磨きをして、歯と歯茎を大切にしましょう。保護者のみなさん、お子様そしてご家族のお口の健康について話し合い、大切な歯の健康を守るためにも、定期健診を受診して予防に努めてください。(川越市は、中学校3年生まで、医療費はかかりません。)学校でも、様々なことについて指導をしていきます。これからも、変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

